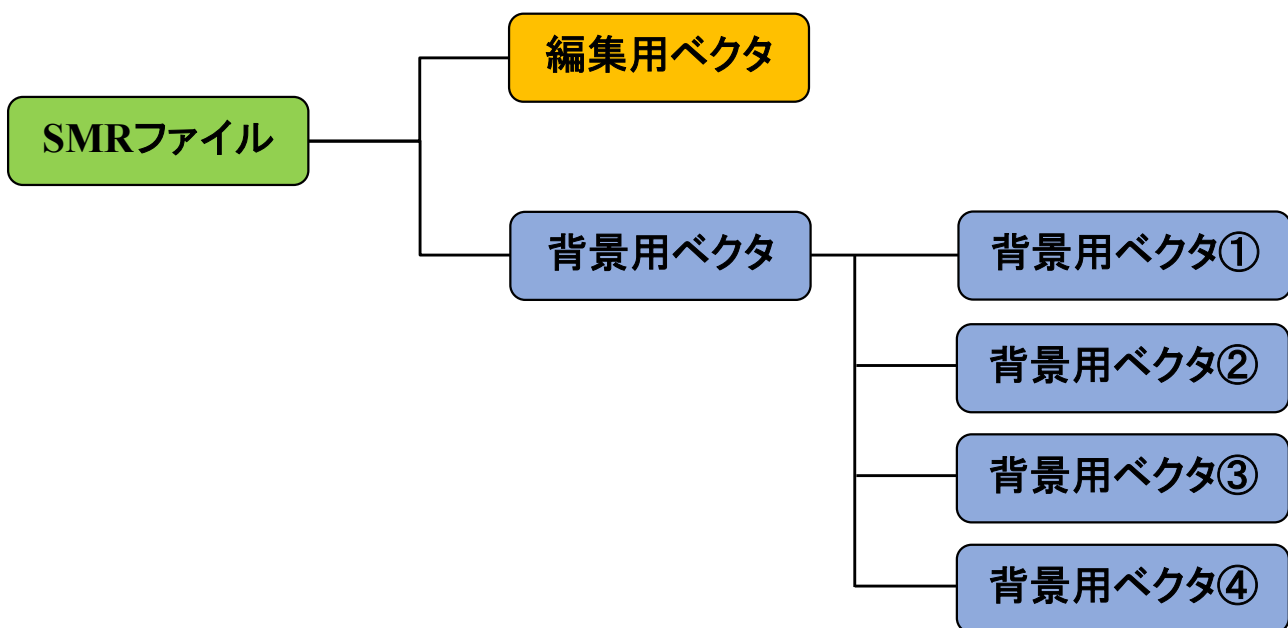


ARUQAndroid 点名の表示・ 非表示を分ける

Assist8では地目レイヤグループからレイヤがいくつにも分かれています、
ARUQ上では【編集用ベクタ】と【背景用ベクタ】の2種類しかありません。

- 編集用ベクタとは・・・編集できる図形データのこと
Assist8からの切り出し保存も可能
- 背景用ベクタとは・・・編集のできない図形データのこと
ラスタに重ねたり、表示することはできる
Assist8からの切り出し保存も可能(最大4つ)



点名の表示・非表示を分けるには図形データを編集用ベクタと背景用ベクタに分ける必要があります。

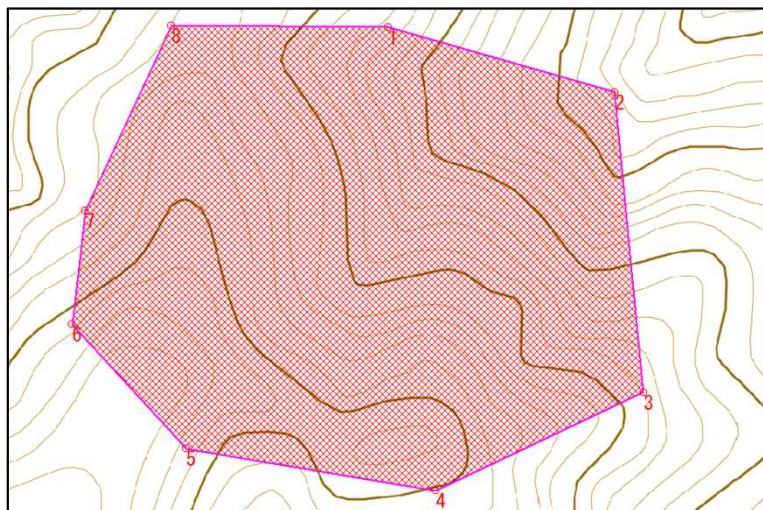
本マニュアルではAssist8から切り出し保存したデータを背景用ベクタ（点名非表示）としてARUQに読み込み、ARUQ上で新たに測量するデータを編集用ベクタ（点名表示）として使用するという想定での操作説明になります。

切り出し保存の前の準備（図形を背景レイヤに移動）

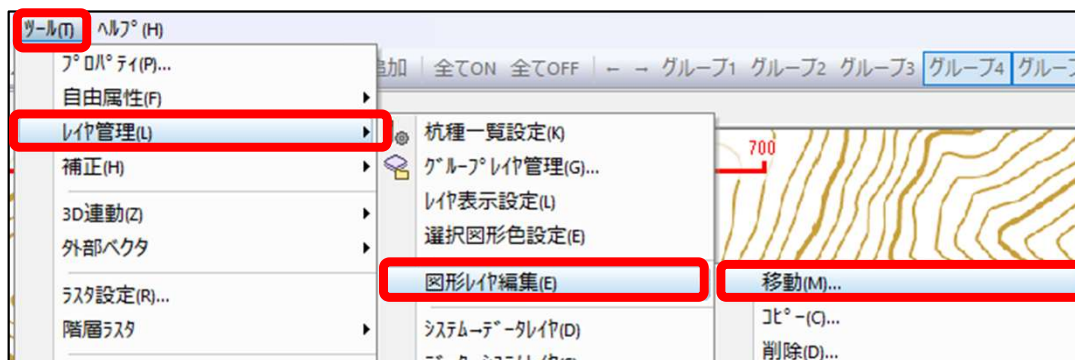
ARUQ上で切り出したデータを背景ベクタとして使用する場合は、切り出す図形を背景レイヤに入れておく必要があります。

現在の図形が地目レイヤに入っている場合はレイヤの移動を行います。

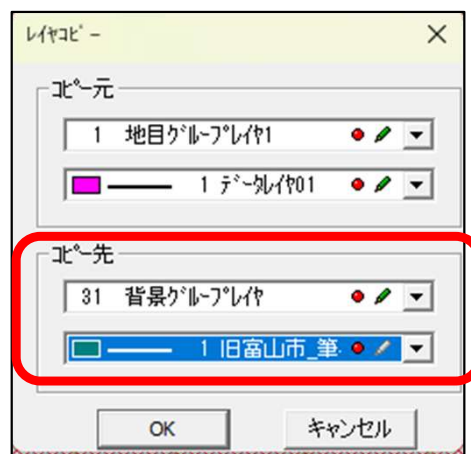
レイヤ表示バーにてどのレイヤグループに入っているかを確認！



[ツール]→[レイヤ管理]→[図形レイヤ編集]→[移動]でレイヤを移動する。

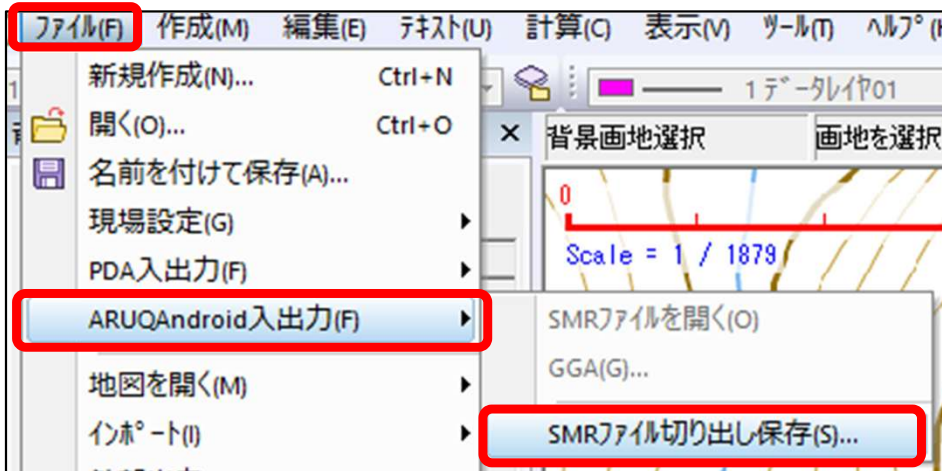


コピー先を背景レイヤグループにする。

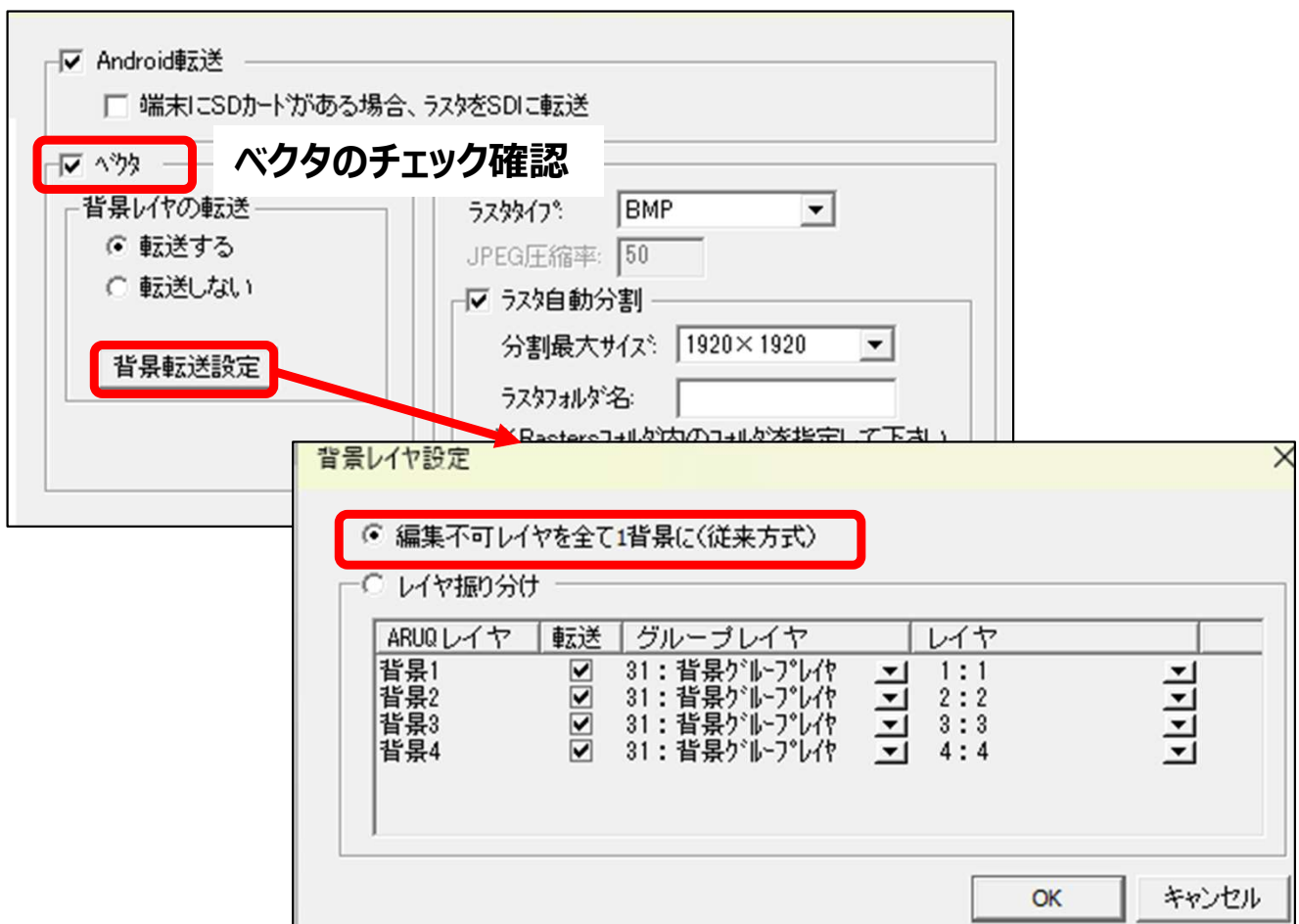


ARUQAndroid切り出し保存

[ファイル]→[ARUQAndroid入出力]→[SMRファイル切り出し保存]をクリック。



[ベクタ]→[背景転送設定]をクリック。[背景レイヤ設定]から設定を行う。



背景レイヤが1つの場合は特に振り分ける必要はありませんが、
2つ以上の場合にはどの背景レイヤを切り出し保存するか選択することができます。

ARUQ上で背景レイヤとして取り込む

通常通り[SMRを開く]からファイルを読み込む。

メイン画面より[ベクタ切替]のアイコンをタップ→[背景レイヤー一覧]→[設定]をタップ



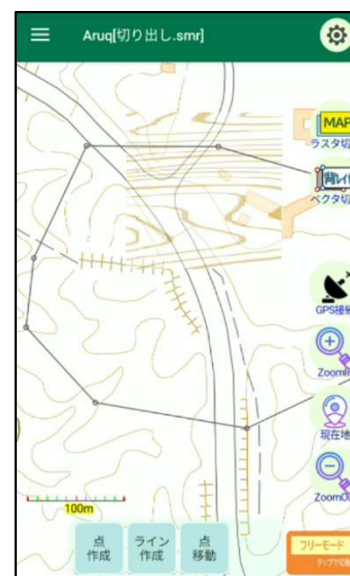
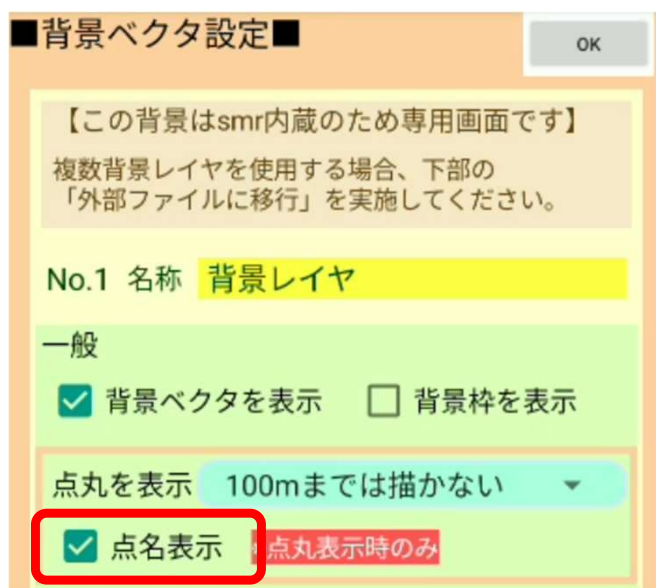
ベクタ切替のアイコンをタップ



背景レイヤ表示がONになって
いないと背景レイヤが表示されないので注意！

[背景ベクタ設定]の[点名表示]欄にチェックが入っている場合、チェックを外す。

背景が複数の場合は[背景ベクタグループ設定]→[グループ管理]→[レイヤ1～4設定]
で同様の設定ができます。



点名の表示
が消える。

ARUQで新しい点を作成する

[設定]のアイコンをタップ→[点・図形]→[点・図形表示]で
[点名表示]のチェックがONになっていることを確認



ARUQ上で新たな点を作成すると点名が表示される。
これで既存データと新規データの点名表示を分けることができます。